

「NGO神戸外国人救援ネット 30年誌」

2025年1月17日発行 A4 452頁 2200円

編集：NGO神戸外国人救援ネット

発行：神戸学生青年センター

＜内容＞

第1章 講演録／飛田雄一、シスターマリア、鳥井一平

第2章 活動記録

第3章 ニュース再録 1995年～2024年

第4章 新聞記事（阪神淡路大震災と外国人）

※救援ネット、学生センター、Amazon で購入ください。

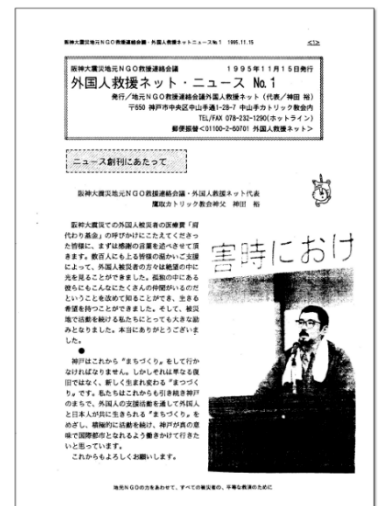
●まえがきより（抜粋）

当時、神戸に外国人を支援する統一的なグループはありませんでした。震災を機会に、様々な形で外国人とつながり交流・支援の活動をしていたグループが、ともに支援活動をするようになりました。こうして生まれたのがNGO神戸外国人救援ネットです。私たちの活動・経験が、これからも起こるかもしれない震災で、そこに住む外国人が、更に困難な状況におちいらないように、ともに助け合いながら災害を乗り越えてゆく手掛かりになると考えています。阪神淡路大震災から30年を迎えて、このような「記念誌」を発行する意味もそこにあると思います。（飛田雄一）

●あとがきより（抜粋）

今後、日本社会はどうなっていくのでしょうか。監理ではなく、共に生きるひとりの人間として、安心、安全、そして人権が保障される社会であって欲しいと願います。救援ネットが役目を終える社会になれるように…。その日まで寄せられる一つ一つの相談に対応していきたいと思ひます。

そして、最後に、相談員として活躍して下さった草加さんが2023年2月に急逝されました。草加さんをはじめ、救援ネットの30年の歴史の中で関わって下さった多くの皆さんの想いと共に今後も活動を続けてまいります。（村西優季）



救援ネット30周年記念集会（予告）

日時：2025年6月22日（日）午後2時

会場：神戸学生青年センター（阪急六甲駅下車、線路南を西へ100メートル）

内容：①総会（特定非営利活動法人 NGO 神戸外国人救援ネット）、②記念講演（神田裕神父）、③懇親会